

行政視察報告

視察日時	令和 5 年 10 月 30 日 15 時～16 時 30 分
視察場所	愛媛県松山市
視察項目	防災・減災について
視 察 者	常任委員会委員 7 名 事務局職員 1 名
視察概要	<p>①自主防災組織 平成 30 年の松山市高浜地区での豪雨災害、平成 7 年の阪神・淡路大震災や平成 13 年の芸予地震で市民の意識が変わり、平成 24 年 8 月に自主防災組織の結成率 100%を達成した。地域ぐるみの防災支援事業の拡充を図っている。</p> <p>②防災士の養成 松山市の防災士は 8,744 人（日本一）。小中学校の教職員や幼稚園・保育園・児童クラブの先生も公費負担で資格を取得。愛媛大学と連携し防災士養成講座を共同開催。</p> <p>③他団体との連携、地域ぐるみの防災 消防団、女性防火クラブ、企業、防火連絡協議会、防災リーダークラブ（大学生）等の団体。</p> <p>④全世代型防災教育 自主防災組織の防災士、大学生の防災士、地域ぐるみの防災士という土台の上に、全世代型防災教育に取り組む。</p> <p>⑤地域と職場の新しい防災リーダーの育成</p> <p>⑥防災教育 保育園・幼稚園の防災教育、小中学校の防災教育、高校生以上の防災教育、学校教員への防災教育、地域・企業・福祉の防災教育を行う。</p> <p>⑦自主防災組織の強化 避難誘導、救出救護、避難所運営、ボランティアの受入れなど。</p> <p>⑧自主防災組織の訓練 研修会、訓練会議、街歩きを行い防災マップづくり</p> <p>⑨自主防災組織以外の住民への防災意識強化啓発 家庭への防災意識の啓発に取り組む。</p> <p>⑩消防団の強化 団員の拡大、定年の見直し、大学生の消防団員は、大学の部活ごと入ってもらう、外国人の入団など。</p>
本市に生かせる視点	松山市の防災・減災はとても先進的だった。全てはできないかもしれないが、全自主防災組織に防災士を養成するなり、小・中学校や保育園・幼稚園の先生方にも防災士養成をすることは、取り組むべきと感じた。山形大学工学部や他の大学があるので、大学と連携し防災士を増やすことは、本市においても、参考にしてもらいたい。